

在宅診療所の現状



医療法人社団しろひげファミリー
しろひげ在宅診療所 院長 山中光茂



医療法人社団しろひげファミリー
しろひげ在宅診療所
在宅医療（内科、外科、心療内科、精神科）

在宅診療の定義とは？

- ① 24時間365日対応！
 - ② 病院へ通院できない方への医療提供！
-

そもそも訪問診療と往診の違いとは？

定期

訪問診療

月2回医師が患者のところに訪問して治療や状態確認を行う定期的な診療が訪問診療

月2回定期訪問で約60,000円

ポイント：24時間365日対応の契約

緊急

往診

患者の状態が急変したり緊急で診てもらいたい場合に患者の要請により医師が駆け付け診療を行うことが往診
単発で約7,000円

ポイント：単発での対応、単価の料金

在宅療養支援診療所の基準の違い

在宅診療所にもランクがある!!

従来型（全体の7割）

最低限の基準

- ①24時間連絡を受ける体制
- ②24時間の往診体制
- ③24時間の訪問看護体制
- ④緊急時に入院できる病床の確保
- ⑤連携する医療機関等への情報提供
- ⑥年に1度在宅看取り数を厚生局へ報告



機能強化型（全体の3割）

最低限の基準に加えて

- 往診を担当する常勤医師が3人以上
 - 1年で往診10件以上、看取り4件以上
- ※これを満たせばランクアップ

全国の在宅診療所数の推移



参考資料「在宅医療の現状について」P18 画像引用 厚生労働省 第2回在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループ令和4年3月9日

全国の診療所数 約100,000施設

在宅療養支援診療所 約14,000施設
(14%)

在宅療養支援診療所

- ・従来型 11,108 (76%)
- ・機能強化型(連携型) 3,302 (20%)
- ・機能強化型(単独型) 205 (4%)

**24時間365日対応と言いながら
しっかり対応していない
年間往診数10件未満、看取り4件未満の
在宅診療所が7割以上を占めているのが現状**

なんちゃって訪問診療所と オンコール（往診）代行診療所

オンコール代行とは？看取りや往診に行かなくても成り立つ理由

在宅診療所と連携をして平日夜間・休祝日の
オンコール、往診を代行して行うサービス
常勤医師で24時間対応をしなくても

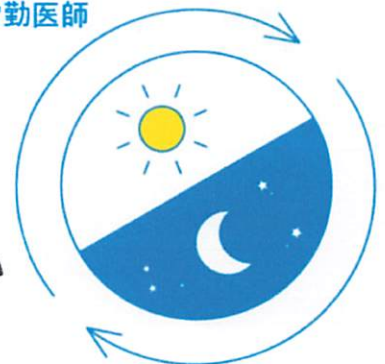
オンコール代行を使えば

在宅療養支援診療所の

24時間対応の基準を満たすことができる

しかしオンコール代行では日頃から患者を診ていない
医師が対応するため診療方針と違った判断をしたり
電話を受けるだけで往診には行かないなど
問題点が多々ある

日中は常勤医師



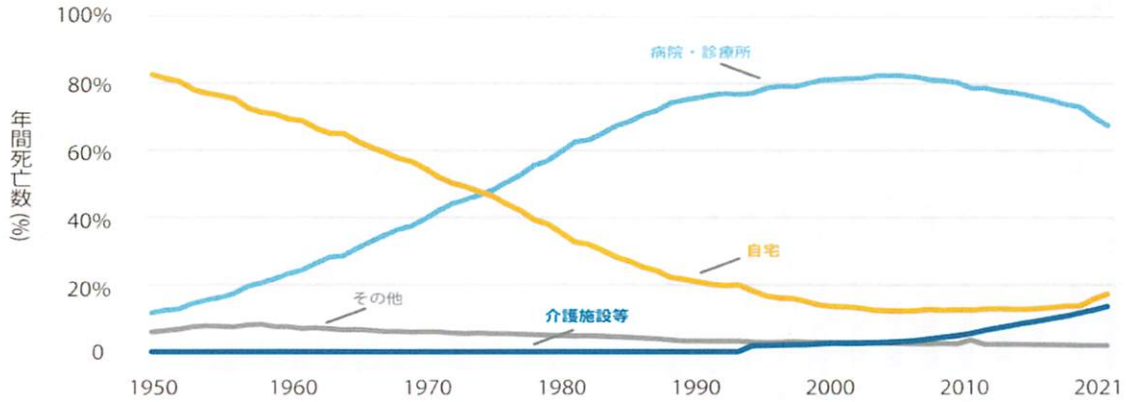
夜間はオンコール代行

死亡の場所の推移

意見交換 資料-2
R 5 . 3 . 1 5

○ 死亡の場所については、自宅・介護施設等が増加傾向にある。

死亡の場所の推移



出典

厚生労働省「人口動態統計（令和3年）」

**2003年から地域包括ケアが始まったが変わっていない
在宅看取りを増やすように動いているが、8割近くは病院死している**

8/17

開院して2年のしろひげ在宅診療所が 都内看取り数2位に

■在宅医療をおこなう都内診療所の「看取り件数」ランキング／1～15位

診療所	自治体	看取り件数
1 医療法人社団 在和会 立川在宅ケアクリニック	立川市	283
2 しろひげ在宅診療所	江戸川区	223
3 板橋区役所前診療所	板橋区	211
4 医療法人社団 三育会 新宿ヒロクリニック	新宿区	203
5 医療法人社団 淳友会 わたクリニック船堀	江戸川区	179
6 あげぼの診療所	新宿区	168
7 医療法人社団 親樹会 恵泉クリニック	世田谷区	166
8 医療法人社団 プラタナス 板新町アーバンクリニック	世田谷区	155
9 医療法人社団 楓の風 在宅療養支援クリニックかえでの風	町田市	123
10 城北さくらクリニック	練馬区	114
11 医療法人社団 実幸会 武蔵国分寺公園クリニック	国分寺市	111
12 医療法人社団 鳥俣会 在原ホームケアクリニック	品川区	111
13 医療法人社団 双愛会 ファミリークリニック蒲田	大田区	103
14 ねりま西クリニック	練馬区	96
15 やすらぎ在宅診療所	青梅市	92
やよい在宅クリニック	文京区	92

©2020年7月～21年6月。週刊朝日ムック「さいごまで自宅で診てくれるいいお医者さん 2020年版」より

■在宅医療をおこなう都内診療所の「看取り件数」ランキング／17～30位

診療所	自治体	看取り件数
17 医療法人社団 ホスピティウム聖十会 中島医院	清瀬市	90
医療法人社団 緑のころろ 南平山の上クリニック	日野市	90
19 医療法人社団 永研会 ちとせクリニック	世田谷区	88
20 医療法人社団 ききょう会 巣鴨ホームクリニック	豊島区	86
21 医療法人社団 ARCWELL 旗の台ライフクリニック	大田区	85
22 愛の泉診療所	東村山市	83
医療法人社団 凛咲会 さくらクリニック	江戸川区	83
銀座在宅醫院	中央区	83
25 医療法人社団 悠翔会 悠翔会くらしケアクリニック練馬	練馬区	78
26 要町ホームケアクリニック	豊島区	76
27 あいクリニック	多摩市	75
医療法人社団 ときわ 赤羽在宅クリニック	北区	75
29 医療法人社団 ききょう会 花畑クリニック	足立区	72
30 医療法人社団 みやび みやびハート&ケアクリニック	中野区	67

©2020年7月～21年6月。週刊朝日ムック「さいごまで自宅で診てくれるいいお医者さん 2020年版」より

このデータから多くの在宅診療所がいかに在宅看取りしていないかがわかる

在宅医療の問題点・課題点①

機能強化型在宅療養支援診療所は診療報酬が高額に設定されているが、施設基準の看取り件数、往診件数の要件が低く、在宅医療を積極的に行っていない診療所でも簡単に要件を満たせる。

機能強化型在宅療養支援診療所
【施設基準】

過去1年間の緊急往診実績10件以上、過去1年間看取り実績4件以上

しろひげ在宅診療所

年間看取り数：227件
年間緊急往診数：1,870件
医師：常勤医師13名
オンコール：必ず常勤医師

※1割負担の場合

1ヶ月の1人あたりの医療費 約7,000円

A診療所

年間看取り数：4件
年間緊急往診：10件
医師：常勤医師3名
オンコール：代行診療所に委託

※1割負担の場合

1ヶ月の1人あたりの医療費 約7,000円

質の差は歴然だが、診療報酬は変わらない!!

参考資料1

在宅医療の提供体制 ～②日常の療養支援～

第1回在宅医療及び訪問診療推進に関する研究会
令和3年10月13日 資料

○ 訪問診療に対応する医療機関の数は、診療所では全体の約20%、病院では全体の約30%に至る。

訪問診療を行う医療機関数の推移

訪問診療：患者宅に計画的、定期的に訪問し、診療を行うもの
往診：患者の要請に応じ、都度、患者宅を訪問し、診療を行うもの



在宅医療の問題点・課題点② ※参考資料1より

24時間型ではない在宅医療を提供している診療所でも、
高額な在宅医療の報酬をもらっている。

在宅時医学総合管理料

在宅療養中の患者の全身状態を総合的に管理することを評価するもの
訪問診療を行えば、24時間対応を行っていなくても、算定可。

患者負担：5,400円~3,450円(1割負担)

※施設基準によって金額が異なる

しろひげ在宅診療所

在宅療養支援診療所(機能強化型)

年間看取り数：227件
年間緊急往診数：1,870件

1ヶ月の1人あたりの医療費 **約7,000円**

A診療所

在宅医療提供も、実質24時間対応なし

年間看取り数：0件
年間緊急往診：0件

1ヶ月の1人あたりの医療費 **約5,000円**

24時間、365日対応していない診療所でも診療報酬に大きな差はない

在宅医療の問題点・課題点③ その1

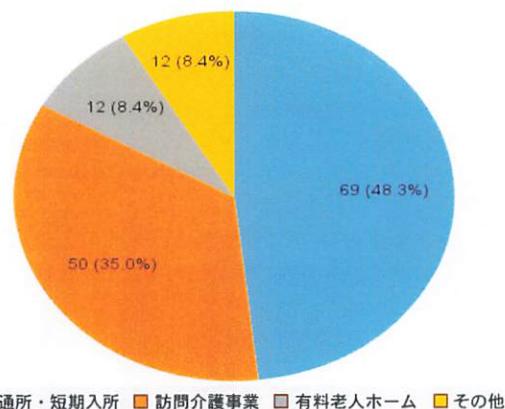
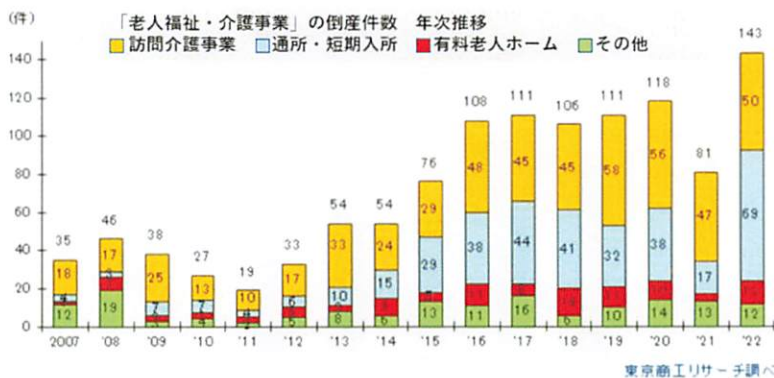
2022年の介護施設の倒産数が過去最多を記録

「老人福祉・介護事業」の倒産件数は過去最多の143件

医療機関の倒産は少ないが

介護事業所は倒産が多く、フォローできていない

老人福祉・介護事業の倒産件数(業種別)



医療機関の倒産では

2022年度 病院：2件 診療所：22件 歯科：13件 (過去20年間で最多)

在宅医療の問題点・課題点③ その2

介護事業所の倒産が増えた理由

人材不足

離職率多い

- ・ 離職者の約73%は勤務年数が3年未満

採用が難しい

- ・ 他産業に比べて労働条件が良くない
- ・ 人手獲得競争が激しい
- ・ 人材獲得のために人件費を上げたとしても、増えたコスト分をサービス費用に転換することが難しい
- ・ 訪問介護員や介護職員の高齢化も進んでいる状況

介護報酬改定の影響

- ・ 若干の引き上げあるものの、大幅なプラス改定なし

新型コロナウイルスの影響

- ・ 感染をおそれて利用を控える方が増加
- ・ 感染症予防にかかる経費も、経営を圧迫する要因

物価高による経費の増加

- ・ 食品や日用品などの物価、光熱費、ガソリン代などが高騰

- ・ 介護業界は介護サービスの料金が定められているため、上昇したコスト分を利用料に転嫁することが難しい

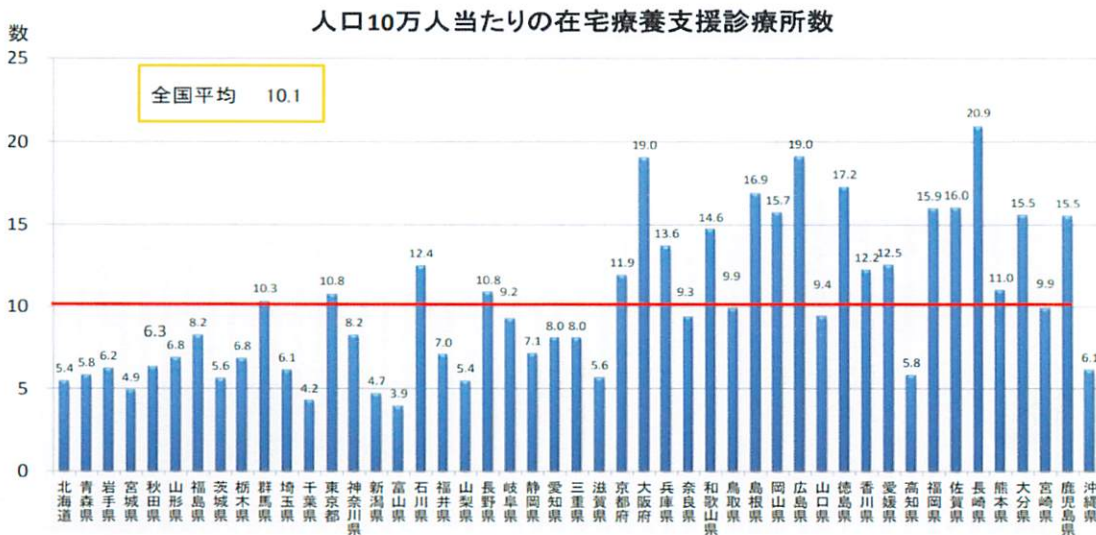
倒産した介護事業者の大半は10人未満の小規模事業者

特に5人未満の事業者の倒産件数が多く、前年より28件増えて85件。従業員数が5～9人の事業者は32件で、前年より倍の倒産件数となっている。一方で、大手介護事業者の倒産件数も若干増加しており、二極化が見られる。

従業員数50～299人の事業者は4件、20～49人の事業者は9件と、いずれも増加傾向にある。

参考資料2

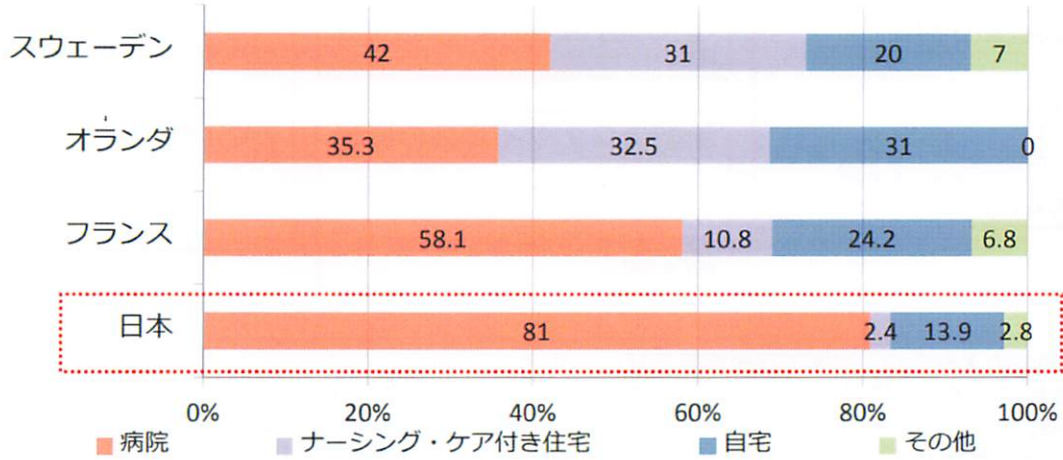
人口10万人当たりの都道府県別在宅療養支援診療所数



参考資料3

死亡の場所（各国比較）

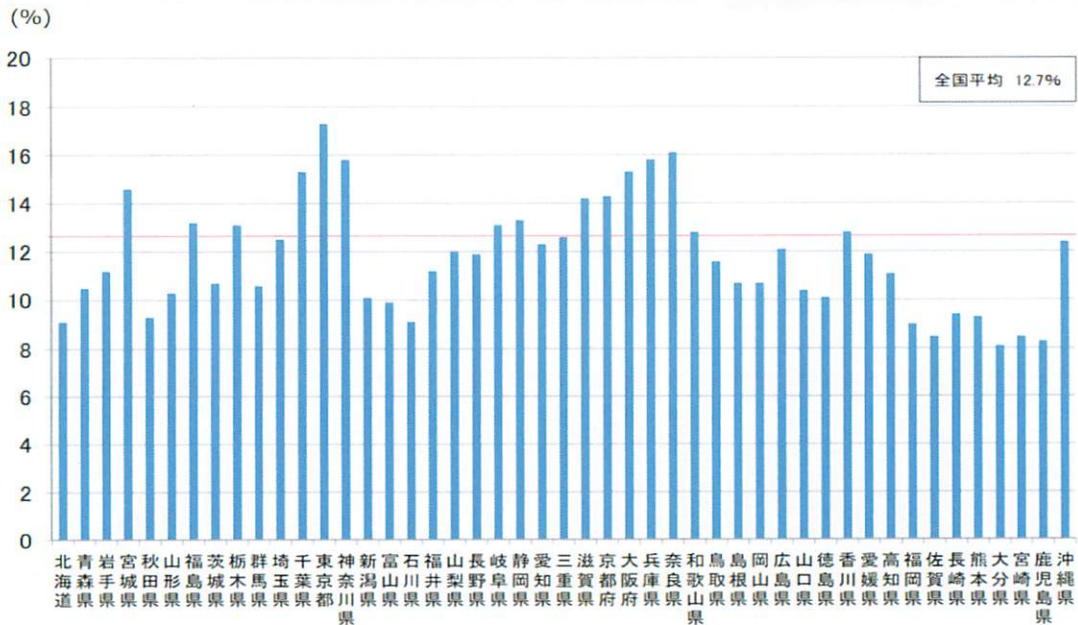
○ 国際的にみて、日本は病院での死亡率が高い。



※他国との比較のため、日本のデータは2000年時点のデータ使用
 出典：医療経済研究機構「要介護高齢者の終末期における医療に関する研究報告書」

参考資料4

死亡に占める自宅死の割合（都道府県別）



出典：人口動態調査（平成27年）

Shirohige

医療法人社団しろひげファミリー
しろひげ在宅診療所



医療法人社団しろひげファミリー

東京都江戸川区 面積:49.09Km²
総人口数:690,152人 高齢者数:21%

在宅診療所

訪問看護ステーション 2事業所

居宅介護支援事業所 2事業所

訪問介護事業所

栄養ケアステーション(診療所内)

地域包括支援センター

就労移行支援事業所

就労継続支援B型事業所

看護小規模多機能型居宅介護事業

医療

介護

福祉



Shirohige

しろひげ在宅診療所

機能強化型在宅療養支援診療所

居住割合:居宅9割 施設1割

患者数:1360名

標榜:内科 外科 心療内科 精神科

開院:2018年10月 7年目

常勤医師:14名
週5勤務 :5名
週4勤務 :4名
週3勤務 :5名



365日 24時間 夜間、休日は全て常勤医師で対応

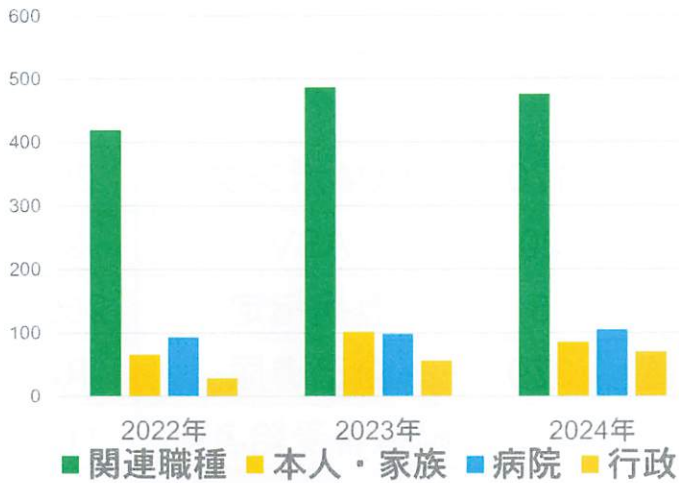
患者数推移



	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
患者数	221	678	1257	1518	1647	1895	2079
新規患者	221	430	630	696	600	750	735

新規患者数 : 約 60名/月

紹介元



	関連職種	本人 家族	病院	行政 その他
2018		221		
2019		430		
2020		630		
2021		696		
2022	419	65	93	28
2023	486	101	98	56
2024	475	85	105	70

関連職種：ケアマネジャー・訪問看護・薬局

関連職種からの紹介 約40件/月

しろひげ在宅診療所の紹介元

2024年

年間ケアマネジャーからの紹介数：**420件**

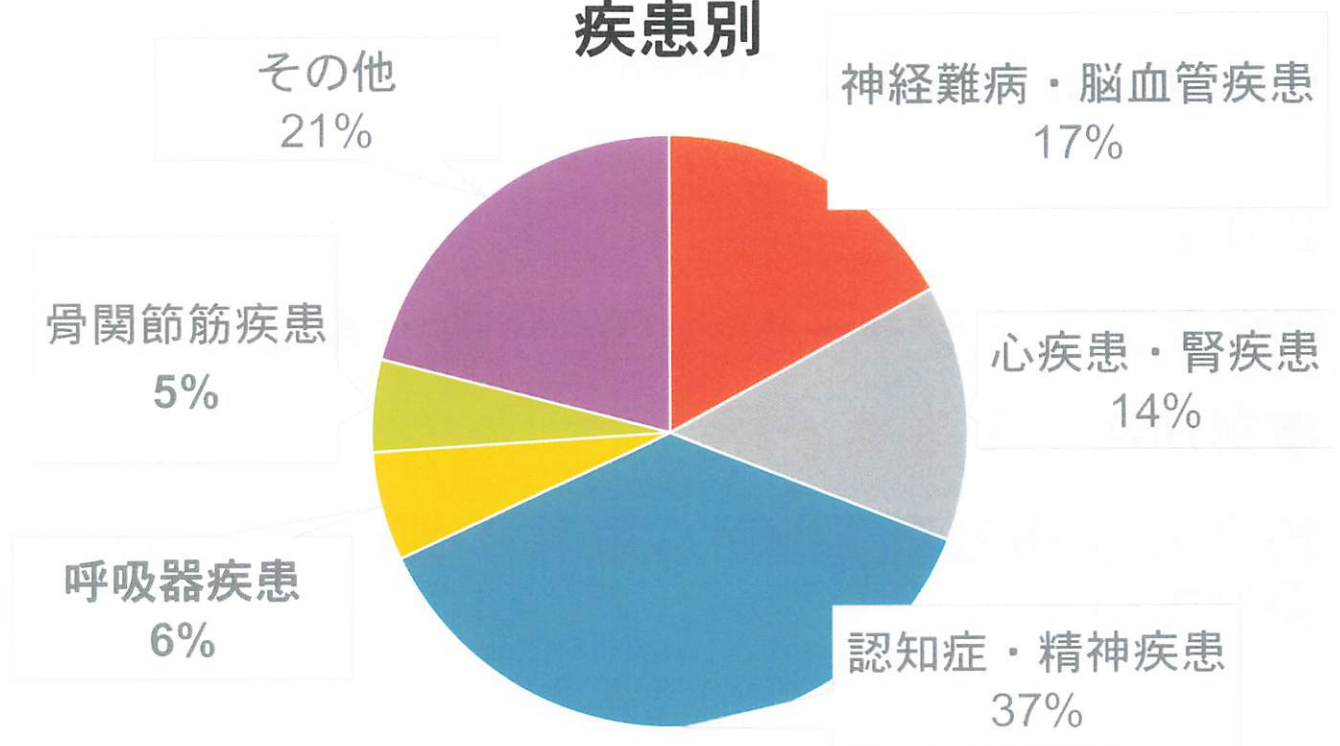
事業所数：**134ヶ所**

約30ヶ所の事業所から**毎月1件～2件**の紹介を受けている。

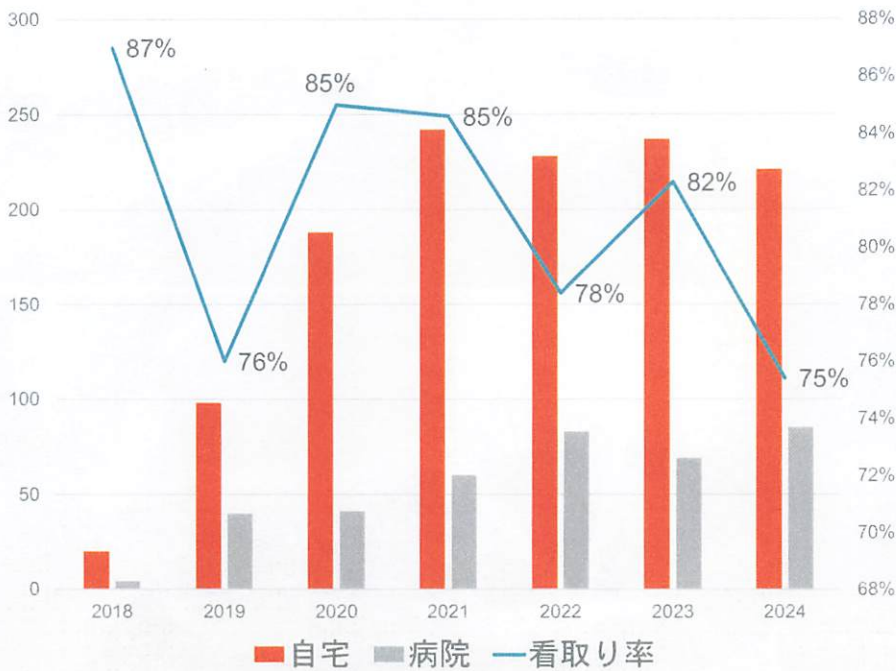
主な重症疾患、医療処置、管理療法が必要な患者数

酸素療法	665	癌患者 (末期も含む)	955	癌末期	510
中心静脈栄養	63	パーキンソン関連	170	PCAポンプ	20
経管栄養	50	脊髄小脳変性症	20	ASV	2
半固形	35	筋萎縮性側索硬化症	5	難病指定	250
自己注射	118	膀胱バルーン留置	379	自己導尿	10
インスリン	85	胃瘻	70	障害者受給者証	111
人工呼吸	4	ストマ	30	気切切開	25
CAPA	15	カフティポンプ	80	精神疾患	281
褥瘡(真皮超)	510	※2018年～2023年の累計			

疾患別



しろひげ在宅診療所の看取り率



	自宅	病院	看取り率
2018	20	4	87%
2019	98	40	76%
2020	188	41	85.5%
2021	242	60	84.6%
2022	228	83	78.4%
2023	237	69	82.3%
2024	221	85	75.4%

接遇マナーの優れた病院・介護施設を表彰する 2023年 第9回 接遇大賞に受賞

受賞理由：朝礼には全職員が参加して情報共有。さらに壁・ドア・仕切りなどの物理的障壁がない建物によって、職種間の壁がない職場環境を実現。壁がない内部コミュニケーションのよさが、外部に対する接遇レベルを上げている。



外観

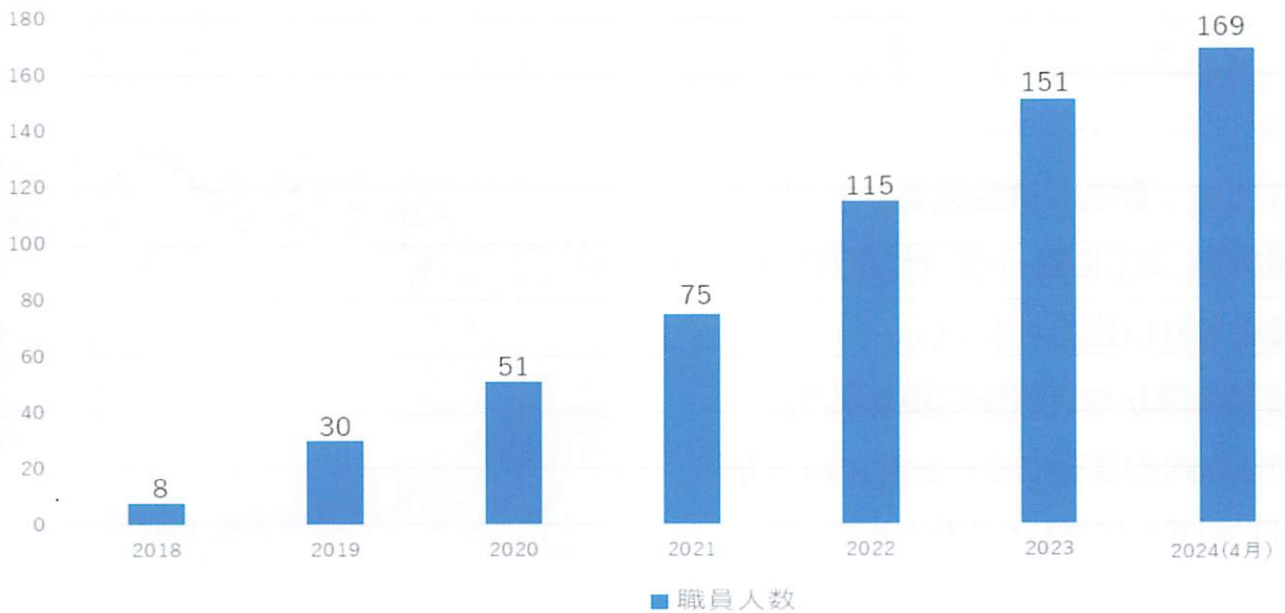


事務スペース

1階フリースペース



職員数の推移



しろひげ在宅診療所 職種



医師

14名



看護師

38名



栄養士

3名



医療秘書

20名



医療連携

11名



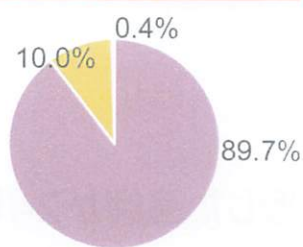
医事業務

20名

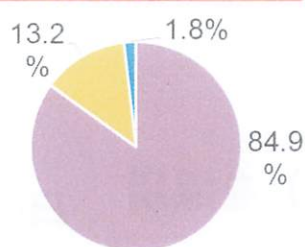
社会貢献：11名 広報：4名 クリエイティブ：6名
 人事総務：9名 ICT：1名 新規事業：3名

医師・看護師の対応について

言葉遣い・態度・マナー

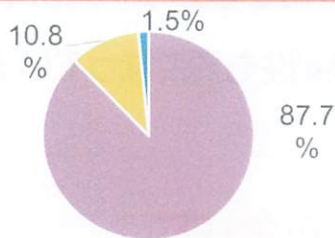


質問・相談のしやすさ

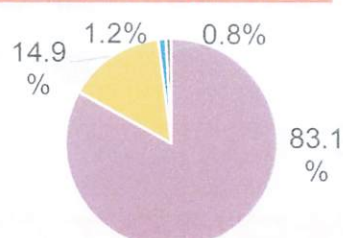


事務職について

言葉遣い・態度・マナー



話しやすさ・相談のしやすさ



■ : 満足 ■ : やや満足 ■ : やや不満 ■ : 不満

2023年
 関係職種・患者・
 ご家族へのアンケート結果
 (450件)

言葉遣いや態度に対すること
 や治療に関する説明や信頼感
 など、高い評価をいただいております。

24時間365日の対応

毎朝のカンファレンス 8:00~9:00

法人全職種が参加して情報共有を行う



24時間365日の対応

医師

常勤医師（週3以上）を採用

週5勤務 6名

週4勤務 3名

週3勤務 5名

常勤医師 計 14名

日頃の状態を把握した医師が24時間365日の体制で往診を行うことで、患者・ご家族の安心につながり、関係職種への信頼や関係性も深くなっている。

夜間、休日は全て常勤医師で対応

関連職種との連携

24時間365日の対応

医師は常勤勤務
夜間・休日は常勤医師で対応

相談員の対応

新規相談の返答
新規相談は断らない

内勤看護師の配置

看護師が往診割り振り

医師・看護師の診察時の対応

医師、看護師が医療・介護
制度の説明を行う

相談員の迅速な対応

医療連携室

相談員：9名

新患同行・入退院の調整
入所調整関係職種との連携

相談員事務：3名

新規相談の電話対応、カルテ記録
情報収集

患者に対して相談員1名配置

関係職種が些細なことでも言える

相談しやすい存在

過去の経過を把握している担当者がいることで

患者・家族・関係職種が安心される

新規相談は当日、翌日中に初診日を決定

新規の受入れは医師への確認がない

当日初診も調整可能

相談員の迅速な対応 医療連携室

新規相談は医師を通さない→断らない

行政からの紹介
年間約70件（生活保護や精神疾患の患者）

自宅環境が劣悪、支援を拒否、警察沙汰、徘徊などで対応が困難な方。
医療とは関係ないところで、定期的な介入で見守りや調整、相談、緊急時の対応等を必要とされるケースあり



内勤看護師の配置による連携

内勤看護師 2名～3名

電話対応

訪問看護（精神科）

お亡くなり患者の手紙作成

物品・点滴指示、特別指示管理

往診の割り振り

看護師が電話で指示や往診依頼を受ける。
往診を主治医へ依頼、主治医対応困難な場合は、別ルートでの訪問状況を見て往診を割り振る。

関係職種・連携室との対応

診療所に入る情報を全て把握して、
関係職種への指示や相談、調整等を行う

医師・看護師の診察対応

医師・看護師・ドライバー 3名体制で訪問

診察時にパソコンを持ち込まない

診察後は電話にて

家族、関係職種へ報告

担当者会議に参加

訪看・薬局への気遣い

医師

医療・介護制度の説明を直接行う

医療費、介護費、介護サービスの調整

在宅医療テストに毎年参加し上位入賞

看護師

家族や関係職種との会話

介護サービス（おむつ交換、飲食補助、歩行介助、
在宅療養相談）

広報誌の発送

しろひげの情報を広報誌にて発信。江戸川区の居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、施設、医療機関、薬局、連携業者へ約1000ヶ所、患者ご家族へ約1000件の合計2000部を年に4回定期的に発送。



社会貢献部 しろひげ・ベーす

ひきこもり状態にある方に安心して過ごしてもらい、交流や就労体験により社会とのつながりと自立を支援することを目的に、江戸川区からの受託業務である「ひきこもり居場所事業等」を展開している。

駄菓子屋 よりみち屋



居場所



地域イベントへの参加

社会貢献部の活動として、地域が主催するイベントに参加。地域交流も積極的に行っています。



東部区民祭



瑞江七夕まつり



瑞江ハロウィン

主催イベント開催

1階コミュニティスペースに患者様や地域の方をお招きして、夏祭りやクリスマス会などの季節イベントを開催し地域交流を図っています。



夏祭り



クリスマス会

地域の団体と協働したワークショップの開催

地域の団体と協働したワークショップやイベントを実施。



薬局とのワークショップイベント



絵本読み聞かせイベント

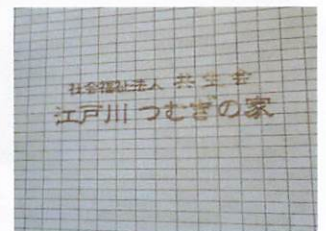
出前授業開催

江戸川区内の小学校や中学校の道徳授業で、子どもや保護者向けの出前授業を実施。いのちの授業や子どもへの寄り添い方など講演会を行っています。



児童養護施設でのイベント

児童養護施設の子どもたちのために、出張イベントを実施。ARスポーツのHADOやボードゲームを一緒に楽しんだりしています



メディア掲載実績

様々なメディアで在宅診療所や社会貢献活動を取り上げて頂いています。



交通広告

区内を走行するラッピングバスや地下鉄構内など、交通広告にも多数広告出稿。





SNS

Instagram・Facebook・YouTubeで情報発信を行っています。

shirohige youtube



キャラクター

オリジナルキャラクターの製作



ひげぞ〜



うさこ



めりいさん



やぎまる



さるのすけ



profile

理事長・院長

山中光茂



しろひげ在宅診療所

医療法人社団 しろひげファミリー

【経歴】

1976年三重県松阪市生まれ

慶応義塾大学法学部法律学科

群馬大学医学部医学科卒業

アフリカを中心とした途上国で

さまざまな医療支援プロジェクトに従事

2009年には全国最年少市長(当時)として松阪市長に就任

三重県四日市市の「いしが在宅ケアクリニック」に勤務

江戸川区で「しろひげ在宅診療所」を開設。